

タイトル

「雪の中のひまわり」

登場人物

田上修^{おさむ} (58) 教師

井坂太郎 (58) 居酒屋経営 田上の中学同級生

井坂レオ (30) 太郎の息子 田上の妻百合の教え子

田上百合 修の亡き妻

井坂美波 太郎の亡き妻 レオの母

△概要▽

東日本大震災から十二年を経た三月十一日、居酒屋を再開した太郎とレオ親子のもとに、太郎の親友修がやってくる。修も太郎も津波で妻を亡くしていた。あのと看、こうしていれば……。それぞれの後悔は尽きない。

この想いを店が続く限り伝えていくのが自分たちの使命だと誓うのだった

SE 吹雪の音

引き戸が開く

居酒屋の賑わい

太郎 いらっしやーい お、修おまじか

修 おーさぶさぶ。

太郎 結構、吹雪いてんな

修 おかえり！居酒屋『オラホの家』え開店、

おめで（ちよつとためらつて）・・・

太郎 いいよ、おめでとうは。こんな日に無理だし・・・

やつと、戻ってきた、この町に

レオ お、いらっしやーい！修せんせ、ありがとね

修 おう、レオか、久しぶりだなあ、築地で修業してたって！

レオ まあ、おやじと、またこの三陸浜で居酒屋やろうと思ったんで

太郎 こいつ、調理師の免許も取ったんだよ

修 そりゃすげえな、頑張ったな

太郎 家庭科2でも取れんだな

レオ うっせーな

修 しかし、今日、この日…オープンの日

にしたのか

太郎 まあな、いろいろ考えたんだけど…

忘れねえように

レオ (ちよつと怒って大きな声で) 忘れるなんて、

あるわけねえべ!

修 そーだよな…んん…でも、残酷だけど

時間たつと…みんな少しづつ忘れてしまうのさ、

だから百合も美波ちゃんも…

レオ 行ってきたの? 墓参り、百合先生の

太郎 海が見える丘んとこだよな

修 ああ…。今日の雪ですっぽり埋もれてた。

海もしくて荒れてたあ、でも…花…

いまどき珍しい花が供えてあった

太郎 花もこの雪だと、凍ってしまうなあ…あの日も、

雪降ってて、寒かったな

修 墓参り、そっちも行ってきたのか美波さんの

レオ うん…

太郎 開店準備あったから…朝、行ってきた。

修 十二年たつのか…

太郎 もう十二年か…

修 まだ、十二年…だな、おれには

太郎 あの朝…美波とけんかしたんだ

レオ しょっちゅうしてただろが

修 けんかか…そういえば、うちは一度も…

太郎 (軽く笑って) たわいもないことなんだ…

その日の店のお通し、なににするかって…

レオ 俺と母ちゃんは『塩辛』にしようって

言ってるのに、おやじは『もつ煮込み』って

太郎 あんとき、「じゃあ『塩辛』でいいや」って

言っとけば…

修 あんとき…あんとき…俺も地震あった時、

電話でしゃべったんだ百合に。百合はまだ

勤務先の学校にいて…「明日の卒業式の準

備してから避難する」って言ってて、あん

とき、あんときおれ、そんなのいいから

「津波来るからすぐ逃げろ」ってなんで…なんで言わ

なかったのかって…

レオ みんな…あんときって、思うんだ。うちの母ちゃん

だって、市場に出かけてたおれを迎えに行くって、

海の道路の渋滞につかまって…俺はすぐに、

市場の裏山に駆け上がったのによ…

太郎 「津波てんでんこ」って、地震の後、津波

くっから、てんでに逃げろって言ってたくせに

修 息子が心配だったんだろ…美波ちゃん…。

みんな…みんな、あんとき…あんとき、

こういえば…こうすればって

S E 熱燭と小皿出して

レオ はい、熱燭と、熱いよ。それとお通し…『塩辛』

太郎 うちのお通しはこれから毎日『塩辛』って…決めただ

レオ 母ちゃんの『塩辛』の方がうまかったけどな

太郎 うっせー

修 そっか…『塩辛』か…あーしょっぱくてうまい！

レオ あの日の1週間前に避難訓練あったんだよな…

修 町の…避難訓練か

レオ あんとき…

太郎 俺が…俺が、言ったんだ。店の仕込みあるから、

手伝えって、おっきな津波なんてめったに来ね

えんだからって…

でも、またこの町で居酒屋やると思わなかった…

店も津波に流されて

レオ やめっぺ、あんときって言うの

修 だな……。ずっと内陸の方で、居酒屋やってたんだろ

太郎 まあな…レオと俺と食ってかなくちゃならないし、

海見るの辛くて、そのままもうこの町に帰るのやめっ

かなって…でも

レオ 俺が、母ちゃんの…母ちゃんのお墓のあるこの町に

戻ろうって言った。それに百合先生も

太郎 百合先生はこいつの初恋なんだと

レオ あーあー、秘密って言ったろ！

修 初恋？へえ

レオ おやじばらすなよ・・・百合先生だけなんだ、
俺の担任は

修 百合は担任じゃあねえだろ・・・保健室の先生だ。

太郎 こいつ教室なんて行ったことねえんだ

レオ 自慢じゃないが、校門抜けたら、そこは保健室だった。

太郎 教室に居場所なかったもんな、やんちゃすぎて

レオ 親父に言われたくないよ！で、先生なに食べる？

修 じゃあ、刺身

レオ おれ、修先生がおやじの親友じゃなかったら、
百合先生と結婚してるな

太郎 おーライバル宣言

レオ おれ、年増好みだから・・・

修 おいおい年増って・・・天国で百合怒ってるぞ

レオ で・・・先生は、百合先生とどこで逢ったの？

修 んん・・・『ひまわり』って映画知ってるか？

古ーい映画だけど

太郎 あのイタリアの映画だろ

修 教育大の新生歓迎のダンスパーティーで・・・

ピカッて・・・そこだけ百合のそこだけ・・・

スポットライト当たってた

太郎 おーのろけちゃって。その話、耳にイカだよ

レオ タコだろ！ はいタコの刺身

修 『ひまわり』の曲流れてたんだ・・・その時・・・

おれ・・・なんて誘ったらいいかわかんなくて

太郎 こいつでっかい声で「中等教育専攻1年、田上修です。

将来、中学の数学の教師をめざしています。

踊ってください」とかなんとか・・・だせーよな

(回想)

M 映画『ひまわり』の曲

SE にぎやかなダンスパーティーの喧騒

百合 お断りします。声、大きすぎます

修 すみません・・・では小さい声で、自己紹介します

百合 え・・・そこじゃなくて・・・

M 『ひまわり』音楽小さく消えていく

SE 居酒屋の喧騒ふたたび

レオ 結局二人とも、ダンス部に入ったの？

太郎 修、よく入ったな。昔、フォークダンスだって、

タコ踊りみたいだったのに

修 うっせー小学校のときだろ・・・それ

レオ 百合先生のダンスみたかったな：

修 美しかったぞ

太郎 お、まだのろけてる。百合ちゃんもこんなじじいの修とは、
もうおどりたくねえだろ

レオ そういえば、修先生、河童みたいになってきたな

修 え！

太郎 頭のとっぺん、また禿進んできたな

修 え！だまされた通販の毛生え薬

太郎 お前が天国行った時、百合ちゃんわがんねえぞ、修のこと

レオ 勝ってるな、若さで

太郎 百合ちゃん、モテモテだ

レオ あの頃…中学のころ、俺、荒れてて…、

うちは居酒屋だから夜、親いなくて…

なんかイライラしてたんだ

太郎 だから…学校のガラス割ったんか…

(回想)

SE ガラス割れる音

走って逃げる

捕まって転ぶ

百合 こらー井坂レオ！割ったガラスちゃんと片付けて

レオ やりゃあいんだろ、いてっ

百合 ほら軍手して、手切るよ

レオ ちえつ、わかったよ

SE ガラス片付ける音

SE 居酒屋の喧騒の音に戻って

レオ 保健室のガラス割って、逃げようとしたんだけど・

百合先生に腕ぐつと掴まれて、かたづけさせられた・

結構、力強えんだよ先生

修 あいつダンスやってた時もぎゅつと握った手、痛かったよ

太郎 おまえのハートもぎゅつと掴まれたか

修 いや、それは・

レオ あのあと、百合先生、割れたガラス一緒にかたづけしてくれて・・なんか食べて帰るって、聞かれて

太郎 何食べた？

レオ ラーメンって言って

修 (ちょっと驚き) ラーメン？そっか：ラーメンか

レオ うまかった・先生と外で飯食うなんて初めてで・

太郎 それから・・・保健室登校・・・息子の恩人の先生が、

修の奥さんって知った時、驚いたよ・・・

でも、レオが学校行くようになって・・・

うれしかったよ。学校に寄り付きもしないで

フラフラして、行っても大暴れしてたのに

レオ 卒業式の日、保健室寄ったら、花束もらった、

百合先生から：百合の花かと思ったら、ひまわり・・・。

まだ寒いのにひまわりなんてあるの？って聞いたら

(回想)

百合 『ひまわり』って古い映画・・・レオ君知らないよね

古い映画・・・この映画のメロディーを聞いた日

出会ったの・・・大好きな人に

だからレオ君もこれから素敵なお人になろう

出会ってほしい・・・ほんとはこの寒い時にひまわり

探すの大変だったんだから

SE 居酒屋に『ひまわり』のメロディー流れ

太郎 お、これ・

レオ スマホでダウンロードした。親父・映画見たことあるの？

太郎 あの・口のでっかい女優 ・ソフィア・ラーメン

レオ ラーメンじゃなくて・ローレンだろ

修 百合さあ、ラーメン・嫌いなんだよ

レオ (驚いて) そうなの! ・じゃあ・

修 生きてたら、ほんとライバルになったかも・

あ・あの花

太郎 花？

修 お墓に：雪の中に一輪のひまわりが

太郎 ひまわりって：え、レオおめえが

レオ (照れて) うっせー

太郎 やるなあレオ。んだば、百合ちゃんに「乾杯」すっか

レオ お父、それを言うなら、「けんぱい」だ、

太郎 えーそっか、おまえ中卒のわりに学あるじゃ

レオ 高校中退だ

修 ありがとう じゃあ献杯すつか、

レオ あ、百合先生のグラスと、母ちゃんのグラスも

修 三月十一日、この店の開店記念もあわせて

みんなにあのときのこと忘れねように伝えていくか

太郎 んでも、俺らも年だしな

レオ おれが伝えていく…おれの子供にも…

修 頼むぞ・・・レオ

太郎 じゃあ、か・じゃなく「けんぱーい」

レオ 修 けんぱーい

SE グラスが重なる

M 『ひまわり』のメロディーF O

△終わり▽